



七条中学校だより2020

子どもと共に育む
京都市民憲章



京都市立七条中学校
令和3年1月5日(火)

第9号

新春号

文責：校長 太田勝

ホームページには「学校だより」をカラーで掲載しています。日々の学校の様子も掲載しています。ぜひご確認ください。

新しい年を迎えました

向上心に限界はない！できないことは「伸びしろ」！可能性をストップさせない！

何人知ってる？ 丑(うし)どし生まれの有名人！！

バラク・オバマ(第44代アメリカ大統領)
矢沢永吉(ミュージシャン) イチロー(プロ野球選手)
GACTO(歌手) 上戸彩(女優) ドヴォルザーク(作曲家)
円谷英二(映画監督【代表作品ルトラマン】)
後藤拓実(四千頭身) 太田勝(校長先生も丑年です)



牛は昔から食料としてだけではなく、農作業や物を運ぶときの労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿が「誠実さ」を象徴し、身近にいる縁起の良い動物として十二支に加えられたようです。

丑は十二支の2番目の干支であることから、子(ね)年にまい種が芽をだして成長する時期とされ、まだ結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと基礎を積み上げていく時期とされます。丑の年は、「黙々と目の前の自分の仕事をこなすことが、将来の成功につながる」と考えるとよいようです。

12年前の丑年(2009年)は、こんな年でした！

- ◆新型インフルエンザが猛威をふるう ◆裁判員制度が開始
- ◆民主庄勝で、政権交代・流行語大賞も「政権交代」
- ◆松井秀喜選手(プロ野球)ワールドシリーズで日本人初MVP

3年生、応援しています！

3年生にとっては、中学校卒業後の進路を決定する時期を迎えました。不安や心配があるかもしれませんね。ところで、今の自分自身の学校での様子はどうか？「遅刻はしていませんか？」「ちゃんと勉強していますか？」「決まりやルールは守っていますか？」

◆人間は「指示」や「命令」だけでは動かない！◆という話を聞いたことがあります。例えば一人の人間が、別の誰かの「指示」に従うのは、その指示の「うしろ」にある意味や本質(なぜそういうことを指示されたのか)を理解しているからだそうです。つまり、みんなが「ちゃんと同じことをする」ことが大切なのではなく、「みんなが分かって動いた結果、その行動をとること」が大事なのです。そうでなければ「みんなと同じこと」ができない人は、単なる「悪者」になってしまいます。この「みんなが分かる」→「理解する」→「共有する」ことが「学校」という場所の存在意義だと考えています。(極論ですが、「知識」だけならスマホがあれば怖い物なしです)進路決定が目的ではありません。進路決定を目標にその後も「学び続ける姿勢」を期待しています。その先に何かがあるかという「ワクワク感」こそが学び続ける姿につながります。だからこそ、「学びに敗者はない！過去の自分と今の自分を振り返り、成長したことを実感してほしい！」

- ①それぞれが自分で決めた目標を、「お互いに尊重する」こと、「励まし合い、支え合っていこう」ということを心に刻んでほしい。
- ②もう悩まずに進むしかない。これまでと、これからも積み重ねる努力が無駄にならないように、必要なことを、学年の先生・保護者としっかり共有してほしい。周りにはみんなを応援してくれている人がいることを大切にしてほしい。
- ③大切なのは3年後、あるいは成人となる5年後の「自分の姿」。これからの自分自身に期待をしつづけてほしい。



あれから、3年・・・。



喜びも不安も包み込んでくれた教室・クラスメイト・先生・・・。

卒業まで、あと69日！

1組「エリアマップ」・「小中交流会」

1組では英語の授業で七条中学校周辺の「エリアマップ」を英語で作りました。完成後、その報告を校長室で行いました。エリアマップを前にしながら、工夫した点や苦労した点をみんな一言ずつ発表もしてくれました。完成したマップはピロティエに展示しています。また、1組では校区の小中学校との「交流会」も行いました。それぞれの学校から徒歩で梅小路公園に集まり、中学生のリードで交流会を進めていきました。秋晴れの穏やかな気候の中で、ピングゲームなどをしながら散策を楽しみました。



1, 2年生「非行防止教室」

1年生と2年生は、京都市教育委員会より講師の方に来ていただき、それぞれ「非行防止教室」を行いました。SNSを中心とした性犯罪やいじめ、その危険性について話をさせていただきました。講演後の生徒の感想では、「ネット被害は誰にでも起こりうると思ったので、注意したい。」「SNSやオンラインゲームのやり取りには気をつけないといけないと実感した。」と、改めてSNSやネットの使い方を見直す姿が見られました。



生徒会「小中挨拶運動」

小中一貫教育の一つとして、11月25日から三日間、新しい生徒会本部による「小中挨拶運動」を実施しました。生徒は、七条小学校・七条第三小学校・西大路小学校のグループに分かれて、小学校の先生と一緒に協力してくれる小学生と共に挨拶を行いました。最後には参加者全員で輪になって、中学生が一言ずつ挨拶をしました。小学校の先生は、大きく立派になった中学生の姿に驚いていらっしゃいました。登校してくる児童もみんな元気よく挨拶を交わしてくれました。



【保護者のみなさまへ】

新しい年を迎えました。昨年は新型コロナウィルスの影響で全国的に学校が休校となるなど、今までに経験したことのない大変な一年となりました。そのような状況の中でも、感染拡大防止に取り組みながら学校教育、特に大きな行事を無事に終えられましたのも皆様方のご理解とご協力のおかげと感謝しております。今後もなお一層の感染拡大防止のための取組と共に、しっかりと教育活動を続けて参ります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。(教職員一同)